



Phore Masternode セットアップガイド

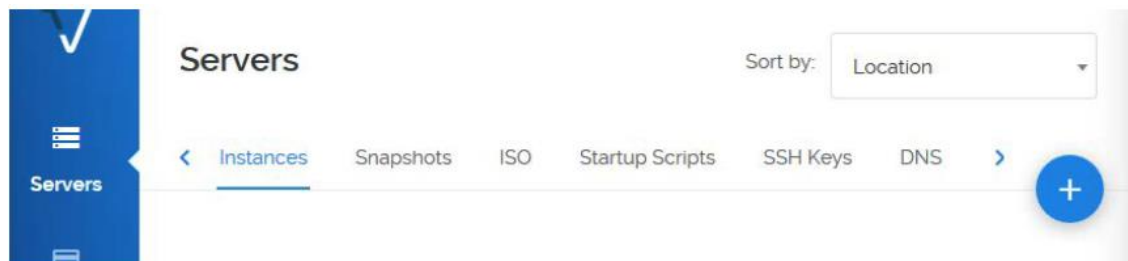
必要なもの

1. Windows の PC
2. VPS のような固定 IP を持つリモートサーバー
3. VPS の設定ができる Teraterm
4. 10,000PHR

ここでは複数のマスターノードの構成が簡単な Vultr を例として説明します。

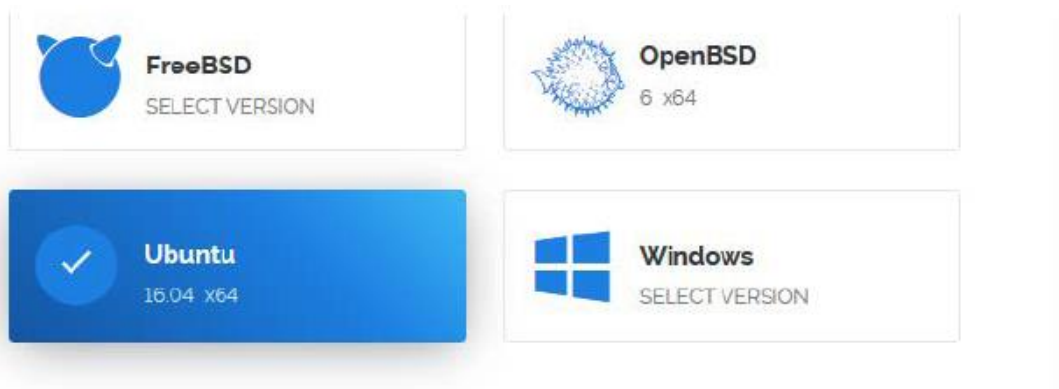
<https://www.vultr.com>

まずは Vultr でアカウントを取得し、VPS を契約しましょう。

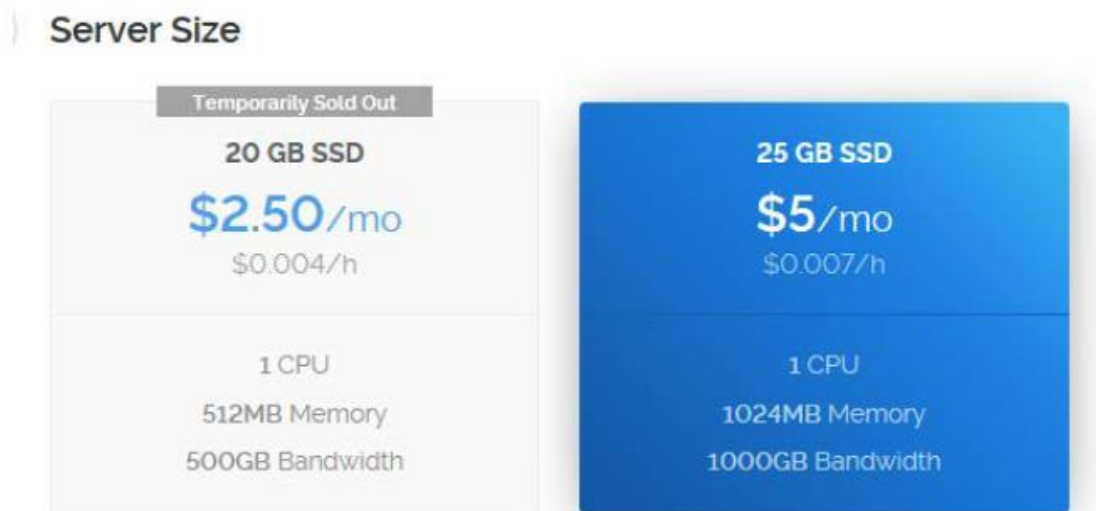


Server Location ではどこを選択してもかまいません。

Server Type は Ubuntu 16.04 x64 を選択しましょう。



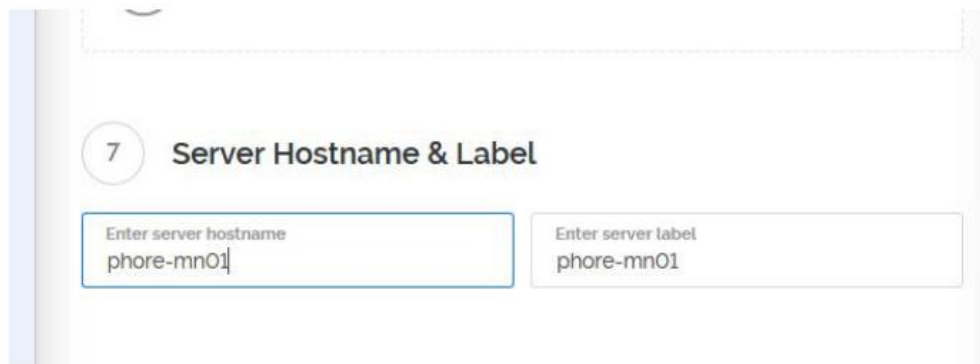
Server Size は 1GB のオプションを選択します(注:ここでは VPS のサーバー上でコンパイルする都合を考えているため 1GB を選択していますが、そうでない場合は 512MB を選択されても大丈夫です)。



この時点で SSH key を設定できます(root に対して)が、ここでは不要です。

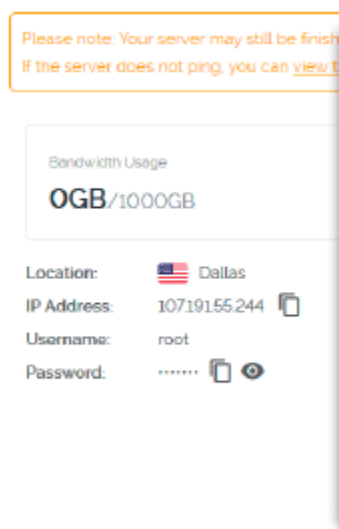
最後に Server Hostname & Label を決定します。

複数立てることを考慮し、phore-mn01 としておきます。



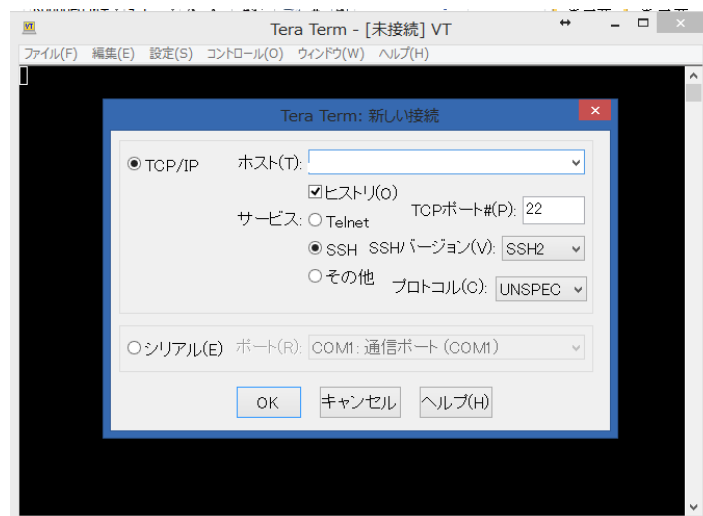
The screenshot shows a configuration page titled "7 Server Hostname & Label". It contains two input fields. The first field is labeled "Enter server hostname" and contains the text "phore-mn01". The second field is labeled "Enter server label" and also contains the text "phore-mn01".

これでサーバーの契約が完了しました。すぐに新規サーバーの情報が更新されます。



The screenshot displays server details. At the top, a note in an orange box says: "Please note: Your server may still be finishing setup. If the server does not ping, you can view the status." Below this, a box shows "Bandwidth Usage" as "0GB/1000GB". Further down, the following information is listed: "Location: [US Flag] Dallas", "IP Address: 107.191.55.244" (with a copy icon), "Username: root", and "Password: [masked]" (with copy and eye icons).

契約した VPS サーバーが instance のタブをクリックすれば表示されると思いますので、詳細情報を表示し、IP アドレスを使ってログインをしましょう。



ホストの認証情報が〜というウィンドウが立ち上がった場合、OK を押してください。

最後に、Linux のウォレットについてマスターノードの設定を行います。(Teraterm を開きます)

次のコマンドを一行ずつコピーペーストしてください(ペーストは Teraterm のウィンドウ上で右クリックすることで行えます)。ペーストしたらエンターキーを押しましょう。

```
wget https://raw.githubusercontent.com/liray-unendlich/phore-masternode-automation/master/JPN-masternode-setup.sh
```

```
sudo sh JPN-masternode-setup.sh -v 1.2.2 -i
```

あとはスクリプトが自動でウォレットのインストールや設定を行います。

最後にマスターノードのプライベートキーを入力する必要がありますが、それは後で得られるキーになりますので teraterm は開いたまま、先に Windows 上でのウォレットの設定を行います。

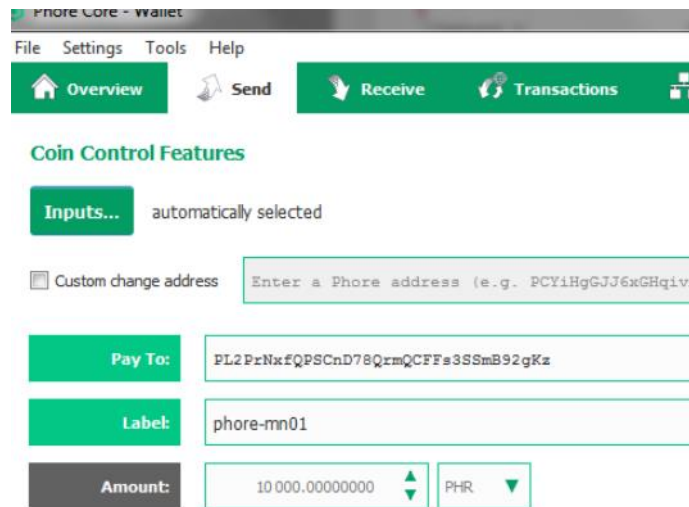
Windows ウォレットでの Masternode の設定

ステップ 1

Phore-qt を起動しマスターノード用のアドレスを生成しましょう。Receive タブを表示してください。Label にアドレスの名前を記入し、Request payment ボタンを押してください。

The image shows the 'Phore Core - Wallet' application window with the 'Receive' tab selected. The 'Receive' tab contains a form for requesting payments. The 'Label' field is filled with 'phore-mn01'. Below the form is a 'Requested payments history' section. A 'Request payment to' dialog box is open, displaying a QR code and payment information: 'Payment information', 'URI: phore-PSE-Su2H', 'アドレス: PSE', 'Label: phore-mn01', and 'd3SPvEK'. The dialog box has buttons for 'Copy URI', 'Copy Address', 'Save Image...', and 'Close'.

こんなウィンドウが出てくるはずです。Copy Address ボタンを押してから、Close ボタンを押しましょう。これでアドレスがコピーできたので、Send タブへ移動してコピーしたアドレスを Pay To: の入力欄へペーストします。



送金額にはぴったり 10,000PHR を指定してください。入力完了したら、Send ボタンを押して、送金しましょう。ブロックチェーン上での送金の確認のため、1~2 分ほど待ちましょう。
その間に、次のようなテキストファイルを新しく作りましょう。マスターノードの情報の一時記録用です。

```
+++++++  
MN ラベル:  
新しく作ったアドレス:  
MN プライベートキー:  
VPS の IP:  
設定ファイル入力用:  
+++++++
```

ステップ 2

デバッグコンソールを開きましょう(ウォレットの上部 **Tools>Debug Console** を選択)。

開いたら次のコマンドを入力し、エンターキーを押してください。

masternode genkey

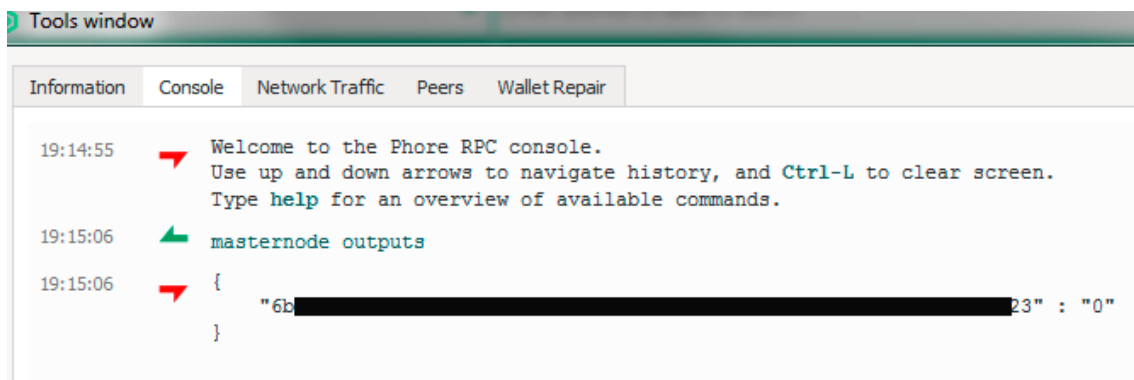


その後 51 文字の文字列が上図のように出力されるので、それをテキストファイルの MN プライベートキーの欄にコピーしておきましょう。

ステップ 3

その後デバッグコンソールに次のコマンドを打ち、エンターキーを押してください。

masternode outputs



masternode outputs の結果は ~~(英数字) : 0 or1 となるはずですが、前者はトランザクションハッシュで、後者はインデックスです。

masternode genkey の結果はマスターノードの識別に使う秘密鍵です。

しっかりコピー出来たら、マスターノードの設定ファイルを作成します。

Tools > Open masternode Configuration File を選択します。テキストファイルが開くので、次の形式で(1 行で)入力してください。

MN の名前 VPS の IP アドレス:11771 秘密鍵 トランザクションハッシュ インデックス

例

Phore-mn1 107.131.25.434:11771 877xxxxxxxxxxxxxcKe 64bc9xxxxxxxxxxxxxxxxxx23 0

このように入力したら、保存しましょう。保存ができたら、次はローカルウォレットでのphore.confの設定をしましょう。[Tools > Open Wallet Configuration File] から開けます。次のように入力して保存してください。

rpcuser=<適当な長さのユーザー名>

rpcpassword=<適当な長さのパスワード>

rpccallowip=127.0.0.1

listen=0

server=1

daemon=1

logtimestamps=1

maxconnections=256

保存が完了したら、ウォレットを再起動してください。

さて、最初のほうに動かしていた teraterm を確認してみましょう。

マスターノードプライベートキー(ステップ 2 の結果)を入力もしくはペーストしてください。と表示されているはずです。

ステップ 2 のコマンド masternode genkey の結果の文字列を入力するか、ペーストをしてください。

もし Phore server starting の下に

Error: Invalid masternodeprivkey. と表示されていたら、入力ミスになります。このガイドの最後のページに対処法をまとめますので、ご確認ください。

60 秒後に次のような文字列が出力され、スクリプトが終了します。

```
{
"version" : 1010000,
"protocolversion" : 70002,
"walletversion" : 61000,
"balance" : 0.00000000,
"zerocoinbalance" : 0.00000000,
"blocks" : 119410
"timeoffset" : 0,
```



```
"connections" : 4,  
  "proxy" : "",  
  "difficulty" : 55081.20347808  
  "testnet" : false,  
  "moneysupply" : 11383323.47511478  
  ...
```

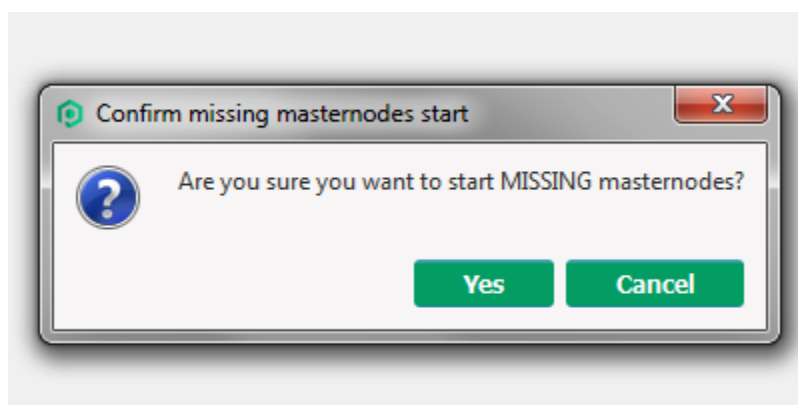
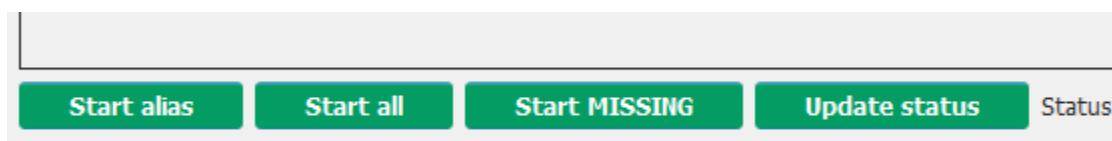
のような表示が出ます。これはウォレットの同期の状況を表しています("blocks"がブロック数です)。同期が完了するまでマスターノードをスタートできないので、しばらくお待ちください。現在の同期の状況は、

`./phore-cli getinfo`

と Teraterm でコマンドを入力することで上の形で得られます。デスクトップウォレットの右下のチェックマークにマウスカーソルを合わせることで、



現在のブロック数がわかるはずですが、ブロック数が同じになったら、いよいよマスターノードをスタートさせましょう。ウォレットのロックを解除した後、Masternode タブを開いてください。実行させたいマスターノードをクリックしてください(ハイライトされて選択を確認できます)。その後 **Start alias** か **Start MISSING** ボタンを押してください。



このようなウィンドウが出たら、Yes を選択してください。

マスターノードの起動に成功した場合 successfully started と表示されるか、そのままウォレットに戻ります。もしエラーを受け取ったら、デバッグコンソールを開き

startmasternode alias false マスターノードの名前

(マスターノードの名前は phore-mn01 など masternode の設定ファイルに記載した最初の項です)

と打ちましょう。成功すれば以下のように表示されます。

```
{
  "overall": "Successfully started 1 masternodes, failed to start 0, total 1",
  "detail": {
    "status": {
      "alias": "phore-mn01",
      "result": "successful"
    }
  }
}
```

マスターノードの実行の様子は Masternode タブで確認できます。

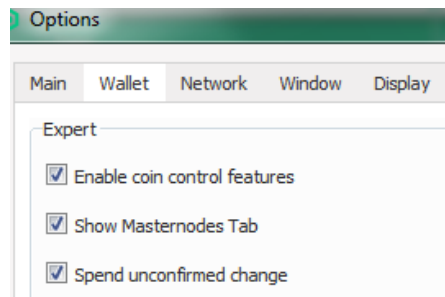
in local wallet can potentially be slightly incorrect.
ditional data and then double check from another node
you still see "MISSING" in "Status" field.

Address	Protocol	Status	Active	Last Seen
771	70001	ENABLED	00m:00s	2017-09-28 19:

起動した直後、Active 時間は増えませんが、3 時間ほど後に見ていただければ変化しているはずです。
マスターノードは VPS 上で自動的に動作しているので、Windows 上のウォレットは閉じてかまいません。

最後に担保として使用している 10,000PHR がロックされていることを確認しましょう。

まず Coin Control 機能を有効化するため、**[Settings > Options > Wallet]** より Enable coin control features にチェックを入れてください。



その後 Send タブに戻っていただければ、新しく Inputs… というボタンが追加されています。これを押してください。



ロックされていれば、上図のような表示になっているはずですが。もしロックされていなければ、10000PHR の部分を右クリックして、Lock Unspent を選択することでロックできます。逆にロックを外したければ、右クリックして Unlock Unspent を選択していただくことでロックを解除できます。

複数マスターノードを実行されたい場合には、それぞれ別の VPS サーバーを用い、別の IP、別のアドレス、別のプライベートキーを使って同様の手順で構成できます。

もし起動しなければ、discord の日本人チャンネルにいる liray までご連絡下さい。自分は日本人なので、言語の壁もなく対応できます。

良いマスターノードライフをお楽しみください。

FAQ

- マスターノードの数はどうやってわかるの？
デバッグコンソールにて “masternode count” と入力してください。そこで出力された数がマスターノードの数です。
- 一気にマスターノードを起動したい。
“startmasternode all false” とデバッグコンソールで入力してください。Masternode.conf 内のすべてを実行します

ご不明点があれば何なりとご質問ください。Discord の Phore チャンネルの日本語チャンネルにてお待ちしております。

<https://discord.gg/Aucncz5>

<https://phore.io/>

上で言及したエラーの対処法

スクリプトの終了後、コマンドの入力画面に戻るはずですが、

次のコマンドを入力しましょう。

./phore-cli stop

nano .phore/phore.conf

すると下のような画面が表示されるはずですが、

```
GNU nano 2.5.3 File: /.phore/phore.conf

rpcuser=phore4fgW3578rFsF3sc3poDSVVDSs
rpcpassword=GFyhjFffrf3567nbdFdfadt63fcignWcvYHVseTv
rpcallowip=127.0.0.1
listen=1
server=1
daemon=1
logtimestamps=1
maxconnections=256
masternode=1
externalip=107.131.25.434
bind=107.131.25.434
masternodeaddr=107.131.25.434:11771
masternodeprivkey=88xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx7K

^G Get Help ^O Write Out ^W Where Is ^K Cut Text ^J Justify
^X Exit ^R Read File ^\ Replace ^U Uncut Text ^T To Spell ^C
```

これは nano エディタ(テキストエディタ)と呼ばれます。下に簡単な使い方をまとめます。

nano エディタの使い方

1. 変更したい個所に方向キーでカーソルを持っていく
2. 入力、編集をする
3. 終了する場合→Ctrl+X 同時押し(保存するときもしないときも)
4. Save modified buffer?と聞かれるので Y を押し、次に File Name to write と聞かれるのでそのままエンターキーを押し保存する(コマンド画面に戻ります)

言及したエラーの出た方は、

masternodeprivkey=文字列

を確認してください。文字列がステップ 2 の masternode genkey の出力と同じかどうか確認しましょう。間違っていれば訂正し、保存してください。保存したら次のコマンドを入力しましょう。

./phored

これで Server starting と表示され、その後 10 秒以内に何もでなければ問題ありません。赤字のところから再開してください。